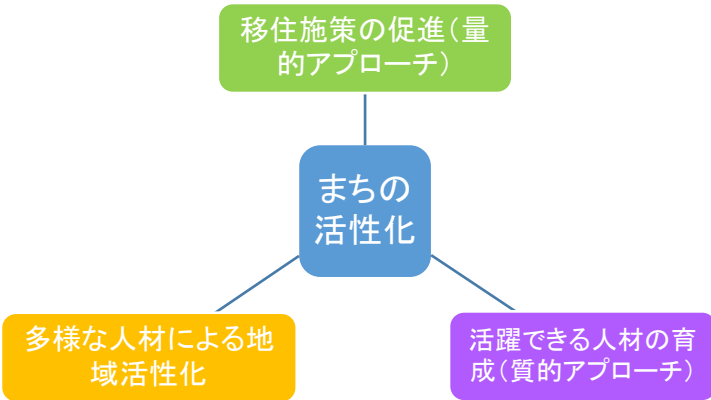


申請者	徳島市ほか14自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	153,920千円（26,560千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・15市町村から成る徳島東部圏域が、官民が一体となり戦略的に取り組む仕組みを構築する ・観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図る ・観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させ、持続可能な地域にする		
事業概要・ 主な経費	○地域固有の資源を観光資源として磨き上げ「ニューツーリズム推進事業」としてコンテンツ造成等を推進する ・SNSプロモーション・HP情報発信・観光素材集作成費（委託費・広告宣伝費）4,800千円 ・AT（アドベンチャートラベル）・ST（サステナブルファムツアー）の磨き上げ費（委託費）700千円 ・ニューツーリズム推進に係る事務費（会議費、通信運搬費、消耗品費、賃借料、印刷費・広告宣伝費・委託費）500千円 ○住民が地域の魅力を再認識する機会の創出や、訪問者と住民との積極的な交流を促進するとともに、住民を対象とした将来の観光を担う人材を育成していくことで、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図る ・観光満足度・住民満足度調査費（委託費）1,260千円 ・マイクロツーリズム推進費用（委託費）700千円 ・観光人材育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・観光地域まちづくりWG運営費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・シビックプライド醸成に係る事務費（会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・広告宣伝費・委託費）200千円 ○観光アプリのデータを活用した地域一体による戦略的・効果的なデジタルマーケティングやCRMを実施することで面的DXを推進するとともに、観光デジタル人材の育成を推進する ・周遊促進に向けた企画商品普及促進費（委託費）800千円 ・観光デジタル人材の育成費（講師謝金旅費・広告宣伝費・会場費・資料作成費）500千円 ・面的DX推進に係る事務費（会議費・通信運搬費・消耗品費・賃借料・印刷費・委託費・広告宣伝費・委託費）100千円 ○大阪・関西万博会場で徳島に興味を持った人々に徳島を来訪してもらい、さらに徳島東部をハブとして広域的な周遊・長期滞在に繋げる ・周遊コンテンツの磨き上げ・情報発信費（委託費・広告宣伝費）500千円 ・関西方面での集中プロモーション費用（広告宣伝費・委託費）1,000千円 等		
KPI	①徳島東部圏域の延べ宿泊者数（+120.8万人） ②徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額（+26千円） ③徳島東部圏域の来訪者満足度（+4.5%） ④徳島東部圏域の住民満足度（+5.0%）		
※経費内訳はR7年度事業費	イーストとくしま 観光推進機構 		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	令和7年9月公表予定	

※徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町の広域連携事業

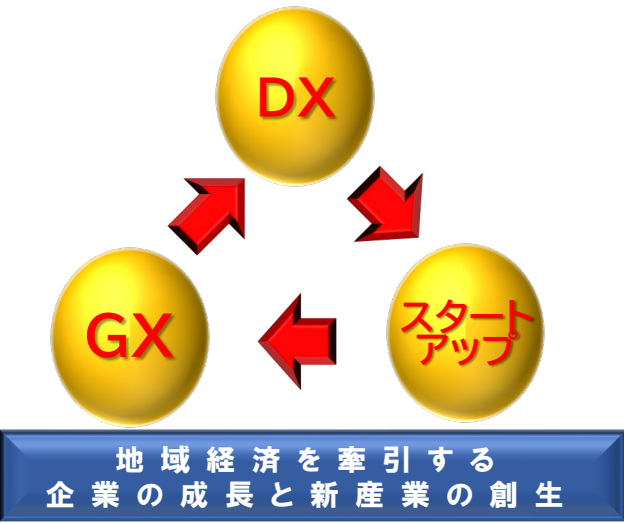
事業概要【「しごと」を担い、まちを元気にする「地域活性化人材」創出事業】

申請者	徳島県徳島市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	86,624千円 (15,745千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・移住施策の推進等により地域外人材を呼び込むことにより、人材を確保する ・市民協働施策等を活用しながら、より実践的な人材育成の取組を展開することで、人材のミスマッチを解消する ・多種多様な人材の創出・確保・活躍を推進する						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	① 地域外人材の確保・定着（量的アプローチ） ・関係人口拡大事業（委託料、報償費）3,345千円 ・ふるさとワーキングホリデー事業（委託料）2,700千円 ② 活躍できる人材の育成（質的アプローチ） ・共創の場運営経費（報酬、旅費、需用費、委託料、使用料）1,790千円 ・女性・若者活躍推進事業（委託料）900千円 ③ 多様な人材を原動力とした地域活性化 ・新規創業等支援事業（報償費、委託料、補助金）5,950千円 ・創業後フォローアップ事業（委託料、使用料、需用費、報償費）185千円 ・阿波女あきんど塾出張講座（報償費、需用費）45千円 ・次世代活躍事業（報償費、旅費、需用費、負担金）830千円						
地域の多様な 主体の参画	伝統産業事業所等に、ふるさとワーキングホリデーの就労受先や移住体験ツアーの訪問先になってもらい、地域外人材の確保・定着を図る。 若手人材が参画する「共創の場」において講演会や勉強会を開催し、地域経済を回しながら地域で活躍している人材である地域おこし協力隊等に、その志や手法を伝えてもらうことで、これからを担う地域づくり人材の育成を図る。 創業促進事業の採択を受けた事業者が抱える経営課題に対して、委託業者やとくしま産業振興機構が伴走支援を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 本事業を通じた、徳島市内における新規就業・創業者数（+125人） ② 本事業を通じた、徳島市への移住者数及び徳島市の関係人口数（+125人） ③ 本事業を通じ、新たな事業やコミュニティビジネスを実施した人数（+50人）

事業概要【伝統文化と公民連携で推進！SDGs未来都市とくしま実現事業】

申請者	徳島県徳島市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	59,139千円 (26,513千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- ダイバーシティと民間活力を原動力とした様々な取組と「阿波おどり」を組み合わせSDGsを自分ごととして推進する地域を確立する。 - 先駆的・実験的な取組を、多様な主体と手を組み積極的に推進することで、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらすモデル事業を生み出す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	① SDGs推進にかかる課題である市民・企業の認識不足を解消するため、地域の伝統文化「阿波おどり」を通じた活動が、ダイバーシティの推進や持続可能性を追求していく取組であると認識できるように展開する。 ・ダイバーシティとくしま連実施経費(委託料) 2,000千円 ・持続可能な地域の伝統文化継承事業(委託料) 1,980千円 ② 企業や市民等と連携し、経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携事業を生み出す。 ・SDGs未来都市 実現協議会運営及びプロモーション事業(委託料、需用費、使用料、補助金) ソフト：857千円 ハード：21,000千円 ・次世代学びの場構築事業費(委託料、需用費、使用料)100千円 ・ダイバーシティ啓発推進事業(委託料) 390千円 ・SDGs推進の取組可視化事業(委託料) 156千円 ・公民連携事業創出に係る人材育成事業(負担金) 30千円					 	
地域の多様な 主体の参画	阿波おどり開催期間中には、学生ボランティアを巻き込んでごみの回収・分別を行い、開催後には、阿波おどり実行委員会へ取組報告を行い、改善点などの意見を次年度計画への反映に取り組む。 地元等企業と連携協定を締結し、“民”が持つビジネスのノウハウやネットワークなどの強みを生かし、SDGs未来都市の推進を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の伝統文化の持続可能性に貢献する市民の数（+680人） ②SDGs推進に係る公民連携事業等に協賛する企業・団体数（+48社・団体） ③経済・社会・環境の三側面に好循環をもたらす公民連携モデル事業の実施数（+7件）

事業概要【2つのX（GX・DX）とイノベーション創出による徳島経済飛躍事業】

申請者	徳島県、徳島市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	773,082千円 (123,799千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・GX・DXによる本県企業の競争力強化を図る。 ・海外展開の促進によるグローバル市場の獲得に取り組む。 ・イノベーションの創出による地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 「シャパンブルー・徳島」を中核とした「カーボンニュートラル」実現に向けた取組、DXの促進による競争力の強化と海外展開支援、イノベーションの創出による産業振興などに取り組み、地域経済の活性化を目指す。 【ソフト事業経費】 これまでの研究開発により市場投入された製品について大規模展示会へ出展するなど、GX製品の販路拡大を通じてGXで稼ぐことができる企業の増加に取り組む。 ・大規模展示会への出展支援などの販路拡大支援（委託費等）22,050千円 「DX実装モデル企業」の創出に、海外バイヤーを中心に、デジタルコンテンツ等を活用したオンラインプロモーションなどに取り組む。 ・企業のDX推進と海外展開支援（委託費等）33,803千円						
地域の多様な 主体の参画	民間事業者等と連携して、DX導入や新技術開発、販路開拓に取り組むとともに、金融機関等と連携して、専門的助言や融資・ファンド等による支援などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①徳島県の輸出額(中小企業分)の総増加額（+159億円） ②脱炭素社会に貢献する製品の試作品数（+50個） ③デジタルトランスフォーメーション（DX）モデル創出件数（+25件） ④コンテンツ産業関連企業の増加数（+75社・者）

事業概要【3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム】

申請者	徳島県ほか7自治体※					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,097,358千円 (225,840千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 県民が本県の魅力を国内外へ発信することにより、多くの観光客が訪れ、観光産業が活性化され、雇用の創出や地域経済の活性化を促進する。 - 県産品や豊かな食を、観光と一体となって国内外に売り込み、「徳島ファン」の増加を図る。 - 四国の玄関口に位置する利点を活かした関西からの旅行訪問者の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関西を主要ターゲットとした周遊・滞在型観光の促進、「阿波の食」を核とした魅力発信とプロモーション、徳島ならではの観光資源の魅力発信やコンテンツ開発などに取り組み、地域経済の活性化を目指す。 【ソフト事業経費】 地元DMOと連携した関西と空からの玄関口・県東部圏への誘客促進や、旅行会社による観光バスを使った企画旅行商品造成に取り組む。 ・DMOと連携した誘客・周遊促進、旅行商品造成支援（補助金）30,000千円 県と市の連携による様々な媒体でのプロモーション活動に取り組む。 ・WEBプロモーション（委託料）1,300千円 「阿波おどり」、「DMV」、「アニメ」のほか、興味・関心の深化を図ってきた県産品や藍などを活かした民間主体のイベントを支援することにより、魅力的かつ持続的な観光誘客に取り組む。 ・民間主導イベントへの支援（補助金等）89,554千円					 阿波おどり  祖谷のかずら橋  藍染め  DMV	
地域の多様な 主体の参画	地元DMO、観光関連事業者等と連携して、消費者目線での新商品造成、受入体制強化、SNS等を活用したデジタル発信などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊旅行による旅行消費額（+871.27億円） ②客室稼働率（+20.7%） ③観光情報サイト総アクセス件数（+471万件）

※徳島県、徳島市、鳴門市、小松島市、勝浦町、海陽町、松茂町、藍住町の広域連携事業

事業概要【「グリーン社会とくしま」の実現による持続可能な地域づくり推進事業】

申請者	徳島県ほか7自治体※					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	452,692千円 (102,749千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・気候変動対策や脱炭素社会の推進に向けた普及啓発等を図る。 ・環境先進県としての取組に賛同する企業や人材等の集積・移住交流の推進を図る。 ・次世代の「グリーン社会」を担うGX人材の育成を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 自然エネルギー等導入に向けた普及啓発・広報活動や、GX推進に伴う県内外への魅力発信及び県外企業・人材等の誘致・交流促進、次世代GX人材育成確保に向けた環境教育などに取り組み、持続可能な地域づくりを実現する。 【ソフト事業経費】 脱炭素社会実現に向けて、地域の企業・団体や住民等への情報発信及び普及啓発活動に取り組む。 ・普及啓発・広報活動等（委託料等）4,100千円 - 首都圏及び関西圏における集中的な魅力発信や、企業・団体向けの効果的なプロモーション活動の展開に取り組む。 ・首都圏等における魅力発信・広報活動等（委託料等）8,280千円 次世代GX人材育成確保に向けた環境教育等を実施する。 ・「とくしまGXスクール」等による環境学習・育成研修（委託料等）2,090千円						
地域の多様な 主体の参画	地域で活動する特定非営利活動法人等と連携して、普及啓発・広報活動に取り組むとともに、観光団体等と連携して、イベント実施などに取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県への年間移住者数＋準移住者数（＋1,588人） ②地域でのGX推進に向けた協働活動実践企業・団体数（＋24企業・団体） ③「とくしまエコパートナー」の協定締結企業・団体数（＋29企業・団体）

※徳島県、徳島市、三好市、阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町の広域連携事業

事業概要【社会・経済状況の変化に適応する「とくしま農林水産業」生産力強化戦略】

申請者	徳島県ほか 5 自治体※					初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,028,757千円 (203,810千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・広域的な産地間連携等による園芸産地の再編・強化や、先端技術を活用した超省力化・高品質生産の実装等による生産性の向上を図る。 ・気候変動に適応した新品種・新技術の開発・普及に取り組む。 ・状況の変化に対応した新たな販売戦略を構築する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 農林水産物の生産性向上の促進、気候変動等環境変化への適応策の推進、状況の変化に対応した新たな販売戦略の構築などに取り組み、本県農林水産業の生産力強化を図る。 【ソフト事業経費】 スマート技術の導入推進や、広域的な産地間連携に向けた栽培技術の統一等の体制づくりに取り組む。 ・スマート技術の導入や産地間連携の推進（委託料等）10,093千円 - 気候変動に適応した新品種・新技術の開発・普及、新たな品目の栽培技術等の開発に取り組む。 ・新品目の栽培技術開発（需用費等）20,915千円 - 多様な販売チャネルを活用した農林水産物の販売拡大に取り組む。 ・発信力の高い販売チャネルを活用したブランディング（委託料等）33,350千円					 阿波ふうど試食会商談  食の博覧会	
地域の多様な 主体の参画	県内の農林水産関係団体や高等教育機関等と連携して、気候変動への適応策に関する技術の実証や共同研究、生産者とのコーディネート、6次化商品の開発・販路拡大等に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①産地リノベーションを実施した園芸産地における生産額（+25億円） ②農林水産物の新品種・新技術の開発・導入数（+34件） ③とくしまブランド推進機構の関与した販売金額（+25億円） ④農林水産物等輸出金額（+9億円）

※徳島県、徳島市、阿波市、北島町、藍住町、板野町の広域連携事業

事業概要【保護者・学校・教育委員会間連絡システム構築事業】

自治体名	徳島県徳島市	人口	244,959人	事業費	3,124千円（R7）				
事業概要	教育現場のDX化による教員の働き方改革及び、それに伴う教育の質向上、保護者の利便性向上、情報がより迅速・確実に保護者に伝わる情報発信力の強化等を目的として、保護者・学校・教育委員会等間の情報配信システムを構築する。								
具体サービス	【保護者・学校・教育委員会間情報配信サービス】 ○メール送信機能（アプリ） ・国、県、市からの通知を市教委から一斉送信 ・学校からの通知は管理職の他担任等も作成可 ・未読者への自動再送機能で発信力を強化 ・部活指導者等、外部協力者との連絡体制構築 ・災害等緊急メールの市教委からの一斉送信 ○お知らせ（掲示板）機能 ・各種団体のイベント通知等を学校を介さず送信 ・学校だより等のお便りを掲載、いつでも確認可 ○欠席、遅刻連絡機能 ・アプリ入力で連絡、関係教員は一斉視認可 ・理由別欠席状況一覧の自動作成、市教委共有 ○アンケート機能 ・回答者情報入力不要、簡単操作で回答率向上 ・災害時の児童生徒等の安否確認のオンライン化 <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td> <td data-kind="ghost"></td>								
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① 保護者の登録率		【アウトカム指標（成果指標）】 ① 住民（保護者）向け情報配信サービスの満足度						